

ウェルフェア イズ ラヴ♡

2025 年 5 月 1 日 号

最近の福祉におけるキニナル話題（福祉の旬トピ🌟）

先日の『福祉新聞』に、「高齢施設と介護未経験者をマッチング 今年度から厚労省がモデル事業を創設」という記事が掲載されていました。

<https://fukushishimbun.com/jinzai/40016>

当事業所代表は、とても素敵な取り組みと思いたい反面、不安も拭えないというのが正直な気持ちです。

従事者の未経験者が施設利用者の方に対する、専門性の前に人間として当たり前求められる自然な対応が出来る方である必要があるということに加えて、介護施設は常時大変な忙しさを伴う現場であるから、哀しいけれど職員が殺伐とした雰囲気になっている場合が無きにしも非ずという現実がある…。ストレスフルな介護職員が、「介護業務が出来ない職員がいくら入ってきても…」という想いを抱いてしまっている場合もある。当事業所代表も以前、生活相談員補助として高齢施設で勤務していた経験がありますが、自身の身体状況の関係でどうしても介護業務が出来なかったため、やはり「居心地の悪さ」のようなものを感じておりました。

例えば、周辺業務担当として採用された職員が、施設利用者様からお手洗いにいきたいと訴えられたとき、その職員が声を掛けたら直ぐに、介護職員が笑顔でサポートに来てくれる。そのような環境が徹底されていれば良いけれど、現状はなかなか難しいのではないかと思います。

未経験の周辺業務担当職員の真摯で懸命な姿勢に触れて、介護職員が初心を思い出すような好循環が起これば、この取り組みは極めて理想的な取組と思いますし、そうなってくれることを願います。

💬 スタッフのヒトリゴト 💬

4/29（火・祝）に、「みなスポかがわ 2025」に遊びに行ってきました。当事業所代表は、パラスポーツやレクリエーションの活動にも携わっているので、お仲間がたくさんブース出展しているイベント。生憎（いいえ。嬉しい悲鳴かな？）会場全体が超・超・超満員で体験するゆとりはなかったけれど、活気溢れるイベント現場に、私も元気を頂きました♪



LOVE のラブラブな実践

先日オンラインで、「知的障害・発達障害のある方の障害年金申請」研修を受講しました。

講師の社会保険労務士の方から、

○障害年金支給の可否は、日常生活の大変さと、就労の大変さで判断される。

○就労しているからといって、日常生活が安定しているとは限らない。

○一口に「就労」と言っても、就労形態や支援の有無、従事している業務内容等によっても変わってくる。

↓

だから、詳細な状況をお伺いしなければならないことを丁寧に教えて頂きました。

当事業所代表は、昨年あるクライアントから、生活福祉資金貸付制度に関するご相談をお受けした際、聞き取り不十分で大失敗をしてしまった経験があるのですが、経済的支援に関しては、詳細な聞き取りが本当に大切であることを改めて教えられました。

開設して日が浅く、依頼はなかなか増えていかないけれど、自身の実践（失敗事例）をしっかりと振り返りながら、研修も積極的に受講し、実践と学びのサイクルの中で、力量の向上を図っていきたいと決意を新たに致しました。

県内の福祉イベント案内 他♪

高松市 生涯学習課が、「知的障がい者青年教室」（スキップクラブ）のボランティアを募集しております。
ちなみに、当事業所代表もこれまで 5 年程ボランティアとして関わらせて頂いており、今年度も継続して関わらせて頂くことにしました。

詳細はホームページをご確認下さいませ。

[「高松市知的障がい者青年教室（愛称：スキップクラブ）」ボランティア募集について | 高松市 \(city.takamatsu.kagawa.jp\)](https://city.takamatsu.kagawa.jp/)

発行 社会福祉士相談所 LOVE

住所 〒761-8071 香川県高松市伏石町 1562 番地 伏石ハイツ第 1 201 号

電話 090-7780-7565

メール you-19830818@outlook.jp

ホームページ <https://lovesocialworker.com/>

転載や拡散、配布大歓迎！！

来週号も乞うご期待♡